

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スマートキッズジュニア行徳		
○保護者評価実施期間	2024年12月9日 ～ 2025年1月20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21 (回答者数)	17
○従業者評価実施期間	2024年12月9日 ～ 2024年12月28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・集団活動の立案、実施をチームで行えている。また、集団活動の内容を決める際は、前月の活動内容と照らし合わせて、活動内容が固定化しないよう工夫できている。	翌月の集団活動の内容を決める際には、常勤スタッフ全員で話し合いを行い、療育内容を決定している。全員で意見をすり合わせることで、統一したねらいを持ち療育を行うことができている。	法人内の他事業所で実施されている活動内容から、参考にできるものを取り入れていくことで、よりプログラムが固定化しないよう取り組んでいきたい。
2	・支援に関わる職員全員が日々の活動内容や個別支援計画の立案を行うことで、生徒1人1人にあった療育が行える教室づくりができている。	支援計画を更新した際は策定会議を行い、支援内容の確認だけでなく日々取り組む課題の設定についても話し合いのうえ準備している。また、日々の集団活動についてもミーティングで内容を周知したうえで実施している。	個別支援計画更新のタイミング以外にも定期的に課題設定を見直すことができるとな良い。
3	・非常災害に備えた避難訓練の実施や、事故や怪我があった場合の保護者対応等、非常時の対策・対応ができている。	避難訓練の様子をブログ等で公開している。非常時の対応マニュアルを用意し、職員が内容把握できるように務めている。	実際の避難場所まで避難する等、施設外への避難練習を行う、非常時の持ち出し物を点検するなどのより実践的な避難訓練を利用者とともに行っていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援後の振り返りについて、業務用チャットや翌日のミーティング内にて時間を確保したことにより改善傾向にあるが、頻度が少ないため毎回振り返りの場を設けられるよう業務改善を行う。	送迎時間が長く、支援後に振り返りの時間を設けることが難しいことが多い。また、週6日開室しているため、常勤職員が全員揃わない日があり、支援内容の共有漏れが発生することがある。	1日5分程度から、その日の振り返りをする時間を設定する。全員が揃わなくとも、振り返りをする場を設定することで習慣化を目指す。
2	保護者の方との連携について、ご家庭によってはより深いコミュニケーションを必要としているため、ご要望にあわせて保護者対応を密に行い、よりよい支援に繋がれるよう努める。	保護者の就労等により、引き渡し時に直接のやり取りがなかったり、ヘルパーを介してのやり取りになるケースがある。	電話やメールなども活用し、平時保護者対応が少ない家庭においても、定期的にやり取りをする機会を作っていく必要がある。

3	保護者会や療育参観の要望があり、実施の件数を増やしたが、参加者が1～2家庭程度と少ないことが多い。	保護者就労の兼ね合いもあり、多くの家庭が参加できるように日程を調整することが難しい場合が多い、また、事業所から各家庭までの距離が遠く、来室いただくことにハードルがある。	オンラインでの開催、動画での配信など、リアルタイムに足を運んでいただくかなくとも参加できるように開催形態の工夫が必要である。
---	---	--	--

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 スマートキッズジュニア行徳

公表日 2025年3月27日

利用児童
数 21

回収数 17

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7	4	1	4		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	9	3	1	4	・スタッフさんが疲れているような気がします ・行ったことがないのでわかりません ・専門家が何人いるのか、何人のスタッフが1日対応してるのか、あまりわからないので知りたい。	ブログやニュースレター等を使用し、職員の在籍状況や専門性について紹介していく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	2	2	5	・行ったことがないのでわかりません ・教室に行くのに、高い階段を登って2階に行かなければならないので、できれば、入りやすい広い空間だといinaと思います。	管理会社と相談し、階段に滑り止めをつけるなどできる範囲で設備の補強を行っていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7	4	2	4	・行ったことがないのでわかりません ・教室に行くのに、高い階段を登って2階に行かなければならないので、できれば、正方形のスペースだと、活動しやすいのではないかと思います。	活動内容に応じて机の配置を変更するなどして、安全に過ごせるようにおうする。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	1	1	1	・ウチの子は落ち着きがないので、それに合わせた療育をしてほしい。	お子様の特性やご家庭での困りごとなどを踏まえ支援内容を設定していく。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	1	1	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	15	1	1	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12	2	3	0	・子どもの課題など、適切に見抜き、重点的に指導してほしい。	保護者とも連携を取り、現状に応じた課題設定を行っていく。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13	2	0	2		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	0	1	0		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	0	3	9	5	・必要ない	
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13	0	3	1		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13	1	2	1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	1	5	3	・家族も参加できる研修会など、やってほしい。情報も教えてほしい。 ・個人的には必要ない	スマートキッズにて開催している講演会などの情報は適宜発信している。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	14	1	1	1	・なかなか、はっきりした課題を共有し合えない。	保護者対応に時間が取れない家庭に対しても、電話やメールなどを用いて情報共有の危機を設定していく。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	0	3	0	・子育てに関する助言をしてほしい。	送迎時等時間が取れる際に保護者からの相談等を聞く場面を設定していく。

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	0	2	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	4	5	4	・個人的には必要ない	
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	3	0	2	・相談する場が欲しい。 ・相談したことがない	支援計画の更新面談だけでなく、定期的にご意見を伺う場面を設定していく。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	1	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11	1	1	4		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	0	1	1		
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	0	2	5		
非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	1	1	4		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	0	1	4		
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	1	1	4		
	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13	1	0	3	・子どもは、中高生向けのディスプレイで自分には合っているとっている。	
満足度	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10	5	0	2	・学校がある日は、疲れた顔をして、帰ってくるが、休日(夏休みなど)は、楽しそうな顔で、デイに行っている(お出かけ日など) ・もう少し休みの長い日などは、子どもの課題を重点的に療育してほしい。	平日と長期休み等でスケジュールや療育内容を調整して対応していく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	1	1	0		平日と長期休み等でスケジュールや療育内容を調整して対応していく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
スマートキッズジュニア行徳		2025年 3月 27日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	・休み連絡などで定員が満たない場合はスポットの声かけ、もしくは別日の提案を行っている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2	・法令上必要な体制は組めているものの、その日利用する児童の特性や児童同士の相性、送迎等で十分ではないと感じることはあるが概ね適切である。	・男子生徒の数に対して男性スタッフが少ないと感じる場面がある。必要に応じて、法人内の他事業所と協力しているが、同性介助でなければいけない場面も多いため、性別の偏りが少なくなれば良いと思う。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	・荷物を置くロッカーには、その日来る児童の顔写真を貼ってどこに置くか明確にしている。 ・生徒の顔写真マグネットを使用することにより、ロッカーの位置などを分かりやすく提示している。 ・教室はビルの2階にあるが、現在の利用者には問題なく利用頂いている。 ・コーナガード等を使用して怪我することが無いよう努めている	・階段には雨や雪に備え、滑り止めを増やせると良い ・事業所が2階にあり、バリアフリー化は行き届いていない
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	1		・不用品を捨て、整理整頓をするべきである
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	・おもちゃなどが置いてある物置部屋があるが、スタッフの目が行き渡るようにする関係で、基本その部屋に籠ることは認めていない。しかし、着替える際・おもちゃを取る際・クールダウンが必要な際に利用を認めている。 ・着替えを必要とする生徒に対して、個室を提供している ・着替えやクールダウン時の相談室を使用している	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1	・毎日支援前にMTGを実施している	・業務前ミーティングを行っているが、長期休み中は時間の都合上難しい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・年に1回ガイドラインアンケートを実施している。 ・ミーティングを行い、より良い教室づくりのための機会としている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2	・日々のミーティング内にて、生徒のみではなく職員の意見交換を行っている	・職員向けにもガイドラインアンケートは実施しているが、業務改善にどこまで繋がられているかは不明。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・動画研修や対面研修を実施している。コロナが5類になったこともあり、対面での研修機会が増えたのは良かった。 ・定期的な研修を行い、資質向上に努めている	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	・保護者の方と面談をした上で、適切な時期に個別支援計画の作成がされている	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	1	・半年に1回保護者面談を行ったうえで個別支援計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1	・児童発達支援管理責任者を筆頭に、スタッフ全員が理解した上で支援計画の作成にあたっている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1		

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1		・地域との連携については改善の余地があると感じる
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	・月1回、職員が集まって次月の活動予定を話し合っている。 ・毎月スタッフ間で話し合い活動内容を決めている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	・長期休み中は時間が取れないことが多いため、業務用チャットも使っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	4	・送迎の都合により全員では出来ていないものの、スタッフが一定数集まったタイミングで振り返りの場を設けている	・送迎時間の都合上、振り返りの時間が取れないことが多い。 ・送迎時間が長く、車内で個別に振り返りをするにはあるが、全体での振り返りは難しいことが多い。翌日のMTG時に可能な範囲で確認している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	・半年に1回保護者面談を行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	6	0		
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0		
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	・児童発達支援管理責任者や、教室での勤務経験が長いスタッフが参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2		・学校との連携はお迎え時等に行っているが、その他の機関との連携はあまり行っていない。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	・学校の公式ホームページから下校時刻や行事予定を入手している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	2	・中高生が利用するジュニア教室のため、就学前に利用していた機関との連携は行っていない。 ・中高生の事業所のためなし	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1	・件数は少ないが、求められた場合は応じている。	・先方の事業所から求められていないこともあり、行っていない。今後はあると良い。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	6		・そういった機関との交流を望まない保護者が多い。 ・実施できていないが、保護者からの要望もあまりない。

	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	2	3		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	・送迎時会話や保護者面談等で情報共有を行い、支援に活かしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	3		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・利用契約時に管理者から説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・利用契約や保護者面談の際に意向を確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	4	0		・2024年度に徐々に療育参観を行い、保護者にも来てもらったが、自宅から教室まで遠いこともあり、あまり集まらなかった。保護者が参加しやすい曜日などを聞き取り、参加しやすいスケジュールを立てていけると良い。 ・年に2回保護者会を実施し、交流の場を設けている
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	・月1回のニュースレター発行、定期的な教室ブログ更新に努めている。 ・ブログにて定期的に活動内容を掲載している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5		・コロナが5類になったものの、地域住民との交流はない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		・マニュアルの策定と訓練は行っているが、職員や保護者への周知に関しては完全に行き渡っていないところもある。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	・月1回、避難訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	・年に1回、基本情報確認シートを保護者から提出して頂き、持病等の把握をしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	・保護者から頂いた基本情報確認シートをもとに食物アレルギーについての対応を行い、必要に応じて原因物質等の除去を行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		

応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1		・詳細な周知はできていない
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1		・最近ヒヤリハットを作成できていないため、月1回は最低でも挙げられると良い。 ・口頭での共有はあるが、書面での作成件数が少ないため、徹底していきたい。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	・虐待防止研修・身体拘束適正化研修を年に数回実施している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	・全ての生徒の個別支援計画に記載し、同意を頂いている。	